

微生物検査学

教授 正木 孝幸
Takayuki Masaki

現在の研究テーマと内容

研究内容は、One Health、すなわち、ヒト、家畜から分離される薬剤耐性菌の種類や分布の解析のデータの蓄積を通して相互の関係性を研究しています。また、医療施設で同定できなかった細菌ならびに真菌の分類に関する研究を行っています。

これまでの研究成果と今後の展開

熊本県下で初となる家畜からのESBL産性菌を含む薬剤耐性菌の分離とその遺伝子学的解析を行い報告しています。また、医療施設の検査技師の方のコンサルトを含め学術的なフォローと共同研究を通して、稀な菌種の同定など実学に結びつく結果を出しています。

【学会発表】

2019年度 2演題、2018年度 5演題

【競争的資金】

- 2017～2019 「淡水起源シアノトキシンの海域生態系への拡散と残留 環境リスク制御・評価」
(キーワード：生分解性 / シアノバクテリア / シアノトキシン / ミクロシスチン)
- 2008～2011 「薬剤耐性菌拡大防止に向けた地域ケアネットワーク構築に関する研究 - 熊本県における薬剤耐性菌分布の疫学調査 - 」 感染看護予防学 (キーワード：薬剤耐性菌、地域ネットワーク、多職種連携、耐性菌サーベイランス、感染管理、感染予防教育)

大学院を目指すみなさんへメッセージ

臨床の現場で困っていることをテーマとして微生物学的手法や遺伝子学的手法を通して究明し、結果に結びつけて臨床検査技術の更なる発展を皆さんと共に行って行きたいと思っています。